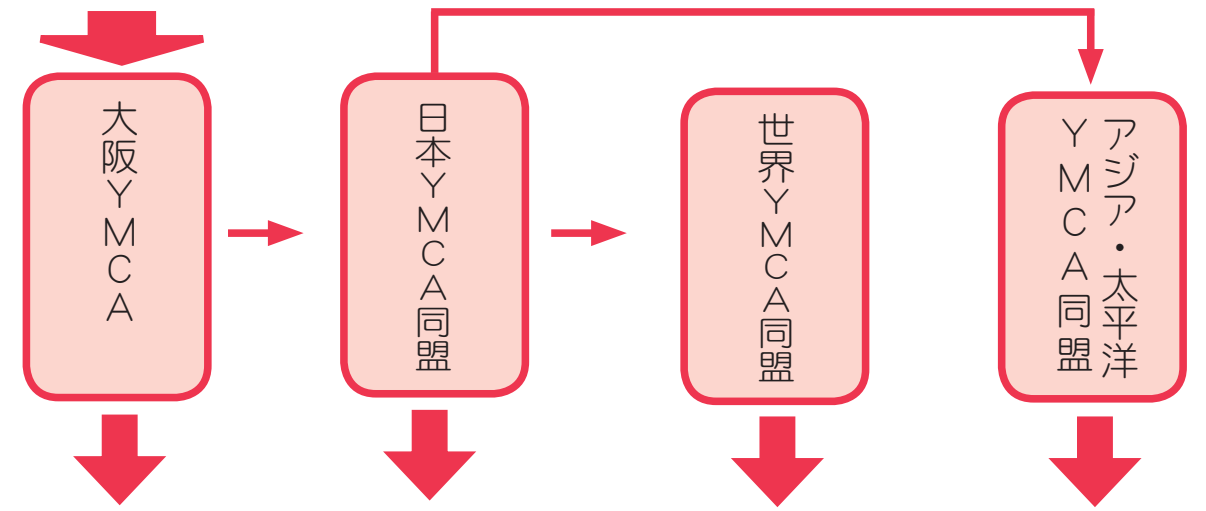


# クリスマス献金のご協力をお願いいたします!

大阪YMCAは、11月から2月までの4カ月間、クリスマス献金を実施します。皆様からいただいたクリスマス献金を用い、国内外のYMCAと協力し、ボランティア一人ひとりが様々な支援プログラムを企画・実施・援助する活動を展開しています。私たちの祈りを込めた献金が社会に光を灯し、地域・世界の人びとの笑顔につながることを願っています。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。  
※クリスマス献金は各地域YMCAにて受け付けています。

大阪YMCA  
2009年度クリスマス献金目標額 1,000万円



発達障がいの子どものウェルネス活動支援  
地域交流活動支援  
高齢者の交流活動支援  
その他、様々な活動に用いられます。

大阪YMCA 2008年度クリスマス献金報告  
総額9,425,763円(3,333件) ご協力に心より感謝いたします。

## ☆ ネパール

私はクリスマスに特別な思い出はありません。でも、最近若くは人々にとって楽しい日です。友達とプレゼントを交換したり恋人同士でレストランに行ったりします。私が日本に来た後ですが、昨年12月25日が新しい休日になったそうです。



左: ベリグティさん (モンゴル) 右: カルキ・ラビンさん (ネパール)

## ☆ モンゴル

クリスマスは友達や家族と過ごします。パーティーをしたり大きなケーキを食べたりしますが、肉料理やサラダなどの伝統的な料理もたくさん食べます。花火を打ち上げたり、大きなコンサートがあったり楽しいことがいっぱいあります。

## 只今研修中



10月から3カ月間、マンマリー・マンダレー・YMC Aのスタッフ・ウサンダー・ウインさんが大阪YMCAにて研修を受けています。初めての飛行機、初めての海外渡航と慣れない面が多々ありましたが、2カ月を過ぎ今では日本に馴染んだ様子です。マンダレー・YMC Aでは、日本語学校で日本語の勉強をしています。大阪YMCAでは、日本語学校や統括本部で現場研修を行い、午後からは日本語学校で日本語の勉強をしています。

「ちょっとインタビュー」日本の印象は? 来る前は少し印象が変わりました。マンマリーで日本人と一緒に仕事をしていたので大体わかっていました。

12月末にマンマリー・スタディーツアーの参加者とともに帰国する予定です。残すところ1カ月になりましたが、YMC Aで見た気が軽くなる声をかけてください! (編集室)

## いろいろな国のクリスマス

### ☆ ベトナム

クリスマス前になると街のあちこちにイエスの生まれた馬小屋やその上に輝く星の模型が作られます。木や草、色紙なども利用してみんなで力を合わせて作ります。12月24日の夜にはカトリック教会にたくさん集まる人が集まって、クリスマスをお祝いします。国では友達や家族がたくさん集まってお祝いをするので、日本のクリスマスは少し寂しいです。



前列: デュウさん、トゥンさん、タオさん 後列: トゥアンさん、ハイさん

### ☆ 韓国

サンタクロースがそりに乗ってやってきて、靴下の中にプレゼントを入れてくれるけど、実はそれは...というの日本とほとんど同じです。韓国には教会がたくさんあるので、クリスマスの日にはクリスマスチャペルではない子どもたちも友達について教会へ行き、お菓子や文房具をもらいます。



崔允熙さん、金ハンビョルさん、李炫知さん

### ☆ マレーシア

友達や親戚とプレゼントを交換したり、レストランでパーティーをしたり、サンタクロースも汗をかいて大変です。でも、最近はお客さんが来るから大丈夫です。日本人はなぜクリスマスにKFCのフライドチキンを食べるのですか?



シュウ・チアシンさん

### ☆ カメルーン・アンゴラ

私たちの国ではクリスマスから新年にかけて、パーティーをしたり、ケーキを食べたりします。特におもちやなどプレゼントをもらえる子どもたちにとっては特別な日です。クリスマスの日には家族が集まって、特別な服を着て、特別な料理を、特別な笑顔で食べます。



左: バヨイさん (カメルーン) 右: パスカールさん (アンゴラ)

### ☆ 台湾

恋人たちはデートをしてレストランで食事をします。パーティーやクリスマスツリーを飾ったりしますが、ケーキはあまり食べません。なぜ日本ではクリスマスにケーキを食べるのですか? 大学などでは英語の先生がサンタクロースの服を着て、家に帰る学生にアメを配ったりします。



林雨辰さん、張雅然さん、劉麗蓉さん

## ◆◆ プログラム報告 ◆◆

### 教育を共に考える集い



10月17日、YMCA学院高等専修学校にて、学校法人大阪YMCAの中等卒業生、後の3つの学び舎(YMCA学院高等専修学校、大阪YMCAインターナショナルハイスクール、大阪YMCA国際専門学校表現・コミュニケーション学科)が、合同学校説明会と教育講演会を行いました。不登校再考「学校と家庭の関係を見直す」をテーマに、滝川一廣さん(精神科医・学習院大学教授)を講師に迎えた講演会には、教育関係者や中学生・高校生の保護者など約140名の方にご参加いただきました。

### 第2回 歌声ひろば



1回目は16名という少し少ない参加者数でしたが、2回目には56名が参加し、9階のスタジオも活気付きました。地域住民の方々にも徐々に浸透してきています。

### バスケットボールカーニバル

### 3世代籠球

10月12日、バスケットボールを通して、子どもから大人までが大人気で、子どもから大人までが、なごりをもつことを願って、「バスケットボールカーニバル」を実施しました。土佐堀YMCAの小学生・中学生・成人の各バスケットボールクラブの方々も参加し、バスケットボールO×Kイズ・フリースロー対決・3ポイント対決・子どもから大人までのミックスチームでの試合を行いました。試合中に成人の方が子どもを持ち上げてダンクシュートを決め、チームプレイということも3点にするなど、各プログラムで盛り上がりを見せ交流を深めている様子も印象的でした。

また子ども達の保護者の方も一緒に参加することで、親子のコミュニケーションをはかり、より親子の絆が深まったように思います。子どもたちに負けないように! と夢中になってボールを追いかける保護者の方々の背中や、中学生のスピード&パワー溢れるプレイを眼にし、尊敬や憧れを抱く子どもたちの表情が輝いて見えました。世代が違っても、バスケットボールを通してつながりを持ち、喜びを共感し、笑顔の絶えない時間を共に過ごすことができる、そんな環境がYMCAにあることを伝えることができました。 (坂井祐菜・土佐堀YMCAスタッフ)

## 国際リレーエッセイ ⑬



~シンガポールより~  
宇 充 洋 さん

シンガポールは、多くのショッピングセンターがある国の一つです。もしシンガポールで暮らすことになったら、日本に住んでいる時と変わらない生活を送ることができそうです。しかし政治的、経済的自立を達成し、発展したこの国において大きな課題となっているのが、水の問題です。雨量は大変多

が地理的な問題もあり、できません。そのため、安定した水を供給するため国外から水を輸入しています。しかし、国際的視点からみ、現在シンガポール政府

は自国だけで安定した水の供給を確保できるように、貯水池の貯水率を上げたり、一度使用した水の再利用をしたり、また海水を淡水に

変えたりするなど様々な取り組みを行っています。この課題から人が生きていく上で絶対に必要な「水」が当たり前の存在としてある日本は、大変恵まれた環境にあることを感じます。しかし、水

◆◆ 筆者紹介 ◆◆  
宇 充 洋 さん  
大阪YMCAスタッフ。  
現在、シンガポール・メトロポリタンYMCAに出向中。